

江戸時代の街道が今も残っているって本当？

【リサーチ】

1. 江戸時代を今に伝える湖南町を探検しよう。

(1) 地図で確かめよう。

湖南町三代の湖南中学校前には、当時のままの形で一里塚が残っている。この街道は、会津藩の若松と白河を結ぶ重要な街道だった。別名「佐渡金山街道」とも呼ばれ、佐渡で取れた金は、三代を通して江戸に運ばれていたんだ。今では、国道294号線となっている。地図で街道の位置を確かめてみよう。



▲三代の一里塚

(2) 湖南町に行ってみよう。

① 湖南町の一里塚を見に行こう。一里塚があったこの街道は、どこを通っていたのか、地図で確かめてみよう。

② 湖南町の街並みをよく見てみよう。とても特徴のある建物がみられるよ。ぜひ、湖南町を訪ねて、昔、街道を通った人が、どんな気持ちでここを歩ったのか考えてみよう。

2. 地域に伝わる伝統芸能や文化を調べよう。

地域に残る伝統芸能や文化を調べてみよう。身の回りには、江戸時代に関係するものがきっと残ってはずだよ。



▲柳橋歌舞伎（中田町柳橋）

【フィールドワーク】

- 柳橋歌舞伎保存会（中田町柳橋）
※11月23日、菅布弥神社の祭礼時に上演
- 庭園・共楽園（現在の麓山公園）
- 街道標識（赤木小学校校庭）
- 如宝寺（堂前）切支丹墓碑 TEL922-0607
- 荒池（ひる沼池）
- VTR『郡山市の近世』（市視聴覚センター作成）